

単元名 本は ともだち

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。  
 (2) 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。  
 (3) 世界の昔話を読み、感想をカードに書いて伝えようとする。

### 標準的な展開例

01010215\_001

【教材名】むかしばなしを よもう／おかゆの おなべ (下 P. 42～P. 55)

【準備等】おはなしカード

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 学習の見通しをもつ。            ★いろいろな昔話を読んで、友達に知らせよう。            ○教科書 (P. 42～43) を見て、知っている昔話について発表し合う。</p> <p>2～3 カードの書き方を学習する。            ○「おかゆの おなべ」を読む。            ○お話の好きなところやおもしろかったところなどを伝え合う。            ○教科書 (P. 55) 参考に、カードの書き方を確認する。</p> <p>4～5 読みたい昔話を選んで読み、カードに書く。            ○読みたい昔話を選んで読む。            ○読んだ昔話の内容を、おはなしカードに書く。</p> <p>6～8 カードを読んで感想を伝え合い、学習を振り返る。            ○おはなしカードを読み合い、さらに昔話を読んだり、おはなしカードに対する感想を書いたりする。            ○学んだことや感じたことを振り返る。</p>	<p>・図書館から本を持ってきて、ブックトークを行ってもよい。            ・読んだことのある児童に簡単なあらすじを話させる。</p> <p>・題名と登場人物、好きなところやおもしろかったところ、自分の名前を書くことを確認する。            【評】本を読む活動を通して、読書に親しみ、いろいろな本があることを知る「知識・技能」を評価する。            ・学校図書館だけでなく、市町の図書館の団体貸し出しを利用するとよい。            【評】昔話を読む活動を通して、世界の昔話を読んで、感想をカードに書いて伝えようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。            【評】おはなしカードを書く活動を通して、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する「思考・判断・表現」を評価する。            【評】おはなしカードを読み合う活動を通して文章を読んで感じたことや分かったことを共有する「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】